

第3回中保育園民営化等に関する三者懇談会 議事概要

- 日 時 2019年10月10日(木) 15:15~16:00
2019年10月19日(土) 10:00~11:00
- 場 所 中保育園遊戯室
- 出席者 中保育園保護者 10/10:3人 10/19:4人
御嵩町福祉課
学校法人杉山第三学園

●部長あいさつ

来年度から指定管理による運営が始まるということで、スムーズに行えるよう今年の4月から引継ぎ保育が始まっている。開始から半年が過ぎたため、引継ぎ保育の状況を説明させていただく。その後ご質問等あればお聞かせいただきたい。また、意見交換の時間も設けたため、ご意見あればよろしくお願ひしたい。

●出席者の紹介

●配布資料の説明

事前質問については、配布した資料の裏面参照。

●引継ぎ保育の状況について

近藤園長：今年の4月から引継ぎ保育が始まった。基本的には来年度からも町立保育園の保育を引き継いでいただくよう進めている。町内の保育園は共通の保育目標に向かって保育している。その中で、中保育園では、「姿勢の良い子」「あいさつができる子」「履物のそろえられる子」「お話を聞ける子」を目指している。引継ぎに関しては、保育所保育指針を基に、保育目標や目指す子どもの姿に沿った保育を、杉山第三学園の先生方と一緒に進めている。具体的には、保育園の運営（主に園長の仕事）、クラス運営（クラス担任等の仕事）、保護者対応（子育ての相談等）、お子様・保護者への支援（関係機関との連携や地域との交流など）など。また、木育・造形・運動・食育についても町内の他の保育園と同様に力を入れている。また、中保育園では子どもたちの笑顔が一番大切にしていきたいと考えており、子どもたちが楽しめて思い出になるよう職員たちも準備段階から大事にしている。そのような部分も引き継いでいきたい。

安江園長候補：町内すべての保育園で様々な行事が実施されており、計画的に行われている。準備や当日の動き、今後の反省も含めて参加しながら勉強している。毎日の保育の中で、低年齢児ほど日々の変化が大きく、喜びを感じている。杉山第三学園の職員共々、子どもたちの細かな部分を発見しながら、子どもたちと関係を築いていきたい。園長や主任保育士を中心に築き上げてきた中保育園を大切に、また豊かに育っている子どもたちの力になれるよう、職員との連携を大切に子どもたちと共に成長していきたい。

●意見交換（10/10）（10/19）

保護者：先生方の動向について知りたい。今いる先生方がほとんどいなくなってしまうのか。

杉山第三学園：今のところ、19名の先生を採用予定。現在、中保育園で勤務している先生方を中心に、伏見保育園や上之郷保育園で勤務している先生方もいるため、御嵩町の保育をよく知ってみえる方がほとんど。

保護者：他の保護者からは、現状維持を求む声をよく聞くが、民営化にあたり良くしていく部分もあってほしい。

杉山第三学園：基本的には今の中保育園で行っていることを踏襲する。みんなで仲良く、楽しく生活することを目指していきたい。現場の先生方と考えながら、時代の流れに沿った変化に対応していきたい。また、保育を通じて先生方の資質を高める時間も大切にしていきたい。

保護者：先生が変わることが一番気がかり。子どもの情緒が不安定の支援方法について聞きたい。

町：公立に限らず町内すべての保育園において、支援が必要な子どもについては関係機関で情報共有しながら支援しているため、今後も同様に対応していく。

杉山第三学園：子どもたちはいろいろな経験をしながら日々成長していくもの。少し異なる環境になることで、また違った経験を得る機会にもなる。保護者の皆さんの不安も受け止めながら、引継ぎ保育の内容を生かして精一杯進めていきたい。

保護者：中保育園とみたけ幼稚園の交流は考えているか。

杉山第三学園：これから検討していく部分だが、鶴沼では幼稚園と保育園の場所が近いこともあり、自然と交流が生まれている。

保護者：新園舎の建設スケジュールは予定どおり進んでいるのか。新園舎の配置等は決まっているか。住んでいるアパートが近いため、工事中の音が気になるため、着工時期がわかれば知りたい。

町：現在のところ、令和4年4月から新園舎での開園という予定で進めている。現在、基本計画としてある程度の案を示しており、保育園は川側のゾーンを予定している。建設の前に各種手続きや土地の造成などを行うため、今年度に建設着手することはない想定。

保護者：現中保育園の跡地はどうか。「ほっとみたけ」で住宅地になると書いてあったが決定なのか。中児童館もなくなり、BGも南側で大きな道路を渡らないと行けない。公園のような広場になるとうれしい。

町：現時点では正式に決まっていない。「ほっとみたけ」のコメントは一つの案としてあがっている。

保護者：給食の内容は変わるか。

町：現在と同じように他園と同一の給食メニューを提供する。

保護者：ことばに心配があるが、そのまま入園できるか。（幼稚園だと入れないと聞くが）

杉山第三学園：もちろん入園できる（児童福祉施設としての中保育園）。

保護者：新しく園舎が建設された後は4月から急に移動ということになるのか。まったく新しい子どもたちも行ったことのない場所に通うことになるのか。

杉山学園：埋め土が終わって建築できる時期に備えて設計士には依頼している。逆算して4月の開園を目指したいと思っている。建築ができる時期が延びれば突貫工事的になる。出来上がった時期には内覧会のようなことも考えている。

保護者：完成予定（こんなものができるという）イメージは見られないか。

杉山第三学園：設計やパースも作成予定。図面をもとに模型も造っていく。

保護者：新しくできる場所には、保育園、児童館と庁舎などがあり、誰でも出入りができるようになると不審者などの侵入が心配になる。

町：新しい建設予定地についてはエリアを分けて庁舎とホールのエリア、駐車場のエリア、保育園と児童館のエリアで計画している。また、そのエリアをフェンス等で囲って不審者等から守っていくことになる。具体的にどのようにしていくかは今後杉山第三学園さんと協議して決めていく。エリア周りには道路が整備される予定でエリア毎に利用者を分けていくイメージ。道路の広さは安全を考慮して今後計画していく。中保育所・児童館のエリアは21号バイパスから一番離れた場所を予定している。

保護者：民営化になることで、大きくここが変わるということは何があるか。

町：基本的にはR4.4に園舎が新しくなるということが大きく変わる。中保育園として保育していく内容に大きく変わることはない。